



# 一中だより

## 学校教育目標 自主・練磨・敬愛

目指す学校像「笑顔と活力あふれる学校」～一人一人の「よさ」を見つけ、伸ばす～

### 「自主・練磨・敬愛」

校長 岡島 一恵

この所、暖かな日が続き、桜の開花が宣言され、いよいよ、春の訪れを感じます。先日13日には、第79回卒業式を挙行し、無事180名の卒業生が立派に本校を巣立っていきました。卒業生が気持ちよく卒業できるよう、職員在校生一同、心を込めて、指導と準備を進め、当日を迎えることができました。私は、心を込めて生徒一人一人の名前を卒業証書に書き入れ、「おめでとう」の言葉と一緒に授与いたしました。卒業証書を受け取る生徒たちの表情は緊張感の中にも明るく自信に満ち溢れ、まぶしいほどでした。いつもいた場所に3年生の姿が見られないことは寂しさを感じますが、新しいそれぞれの場所で頑張ってくれることを期待し、私達も頑張りたいと思います。3年生が築いて磨き上げた伝統と文化を必ずや後輩たちが立派に引継ぎ、更に発展させてくれると信じています。

本日無事に令和7年度の修了式を迎えることができました。以下に修了式の式の言葉を掲載させていただきます。

今日は、令和7年度の修了式です。先日の13日に、卒業式が行われ、180名の卒業生が、川越第一中を巣立っていきました。ですから、いつも3年生がいた場所に、今日は、その姿はありません。ちょっぴり、寂しい気持ちになりますが、4月には、新入生が入学し、新しく川越第一中学校がスタートします。そして、皆さんも、次の学年へと進級します。4月にいいスタートを切るためには、今年度の自分を振り返っておくことが大切です。

入学式・始業式に私が皆さんにお願いしたことを覚えていますか。

1年生には、学校教育目標「自主・練磨・敬愛」について紹介し、自ら正しく判断し、よりよく行動する力、諦めず最後までやり抜く強さ、良さに気付き異なる意見や考え方も大切にできる心をもってほしいと話しました。2年生には、学校教育目標の下、新入生である1年生が希望をもち、先輩にあこがれ、努力したいと思えるよう、リードするだけでなく、時には背中を回って、その背中を押してあげてほしいと話しました。この1年間の皆さんの成長は目覚ましく、明らかに1年前とは違う、次の学年へと進級する準備を整えた姿がここにあるように思います。

1年生。3学期は、2年生の修学旅行に向け、自分たちで責任ある行動を目指した班別行動の校外学習は、もしかしたら多少の失敗はあったのかもしれないけれど、出発前駅に集合する君たちの様子は自主の精神に満ち溢れていたこと、そして、次の日の朝の学年集団の雰囲気はとても温かく、仲間と共に確実な成功を修めたことが感じられました。

2年生。2学期から準備した1月下旬の修学旅行では、皆のために一肌脱ぐことができる頼りがいのある姿や班行動での他を気遣う思いやる姿から自主・敬愛の精神を感じました。また、役割への責任感、何より、学年全体で場を盛り上げる一体感のあるパワーを感じ、今後の更なる成長が期待されました。

そして、先日行われた3年生を送る会では、それぞれの学年が3年生の卒業を祝うために精一杯心を込めて準備してくれ、素晴らしい会になりました。

今日は、通知表と共に、皆さんには修了証を授与します。修了証は、皆さんがそれぞれの学年の学習などにしっかり取り組み、修了したことを証明するものです。この修了証は、皆さんの1年間の努力の証でもありますが、支えてくれたお家の方、指導して下さった先生方、そして、一緒に過ごした仲間がいたからこそ、今の成長した自分があります。1年間の中では、必ずしもいい事ばかりではなかったでしょう。嫌な思いをした日や、先生や友達を恨んだ日もあったかもしれない。でも、その全てが、今のあなた方を作っていると2学期にもお話ししました。それから、そんな皆さんの悩みと共に、いや、もしかしたら、それ以上に、先生方も、悩み、君たちの事を大切に思い、君たちのためにできる限りの手を尽くして頑張ってくれていることも忘れないでください。修了証は、そんな多くの人の協力があって手にすることができるとても重いものです。結果だけにとらわれず、そして、傲慢にならず、謙虚に、感謝の気持ちをもって、次年度の意欲につなげてください。

さて、先日購入した本に掲載されていたある小学生の作文が目にとまりました。最後に、その一部を紹介します。

「僕の夢は一流のプロ野球選手になることです。そのためには、中学、高校と全国大会に出て活躍しなければなりません。活躍できるようになるためには練習が必要です。僕は三歳の時から練習を始めています。三歳から七歳までは半年くらいやっていたんですが、三年生の時から今までは三百六十五日中三百六十日は激しい練習をやっています。だから、一週間中で友達と遊べる時間は五、六時間です。そんなにやっているのだから必ずプロ野球の選手になれると思います。(中略)そして、僕が一流の選手になって試合に出られるようになったら、お世話になった人に招待券を配って応援してもらおうのも夢の一つです。とにかく一番大きな夢は野球選手になることです。 六年二組 鈴木 一郎」

これは、昨年1月日本人初のアメリカ野球殿堂入りを果たしたイチローの小学生時代の作文です。イチローの資質は特別であり、謂わば天才。他人には到底真似できることではない。でも、それが全てでしょうか？この作文は、夢を実現する上で大事なものは何かを語っています。それは、夢の実現に迷うことなく、そのために本腰を入れたほぼ毎日の激しい練習、友達と遊ぶ時間の制限を言い切る覚悟、加えて、お世話になった人へ報いる報恩の心。イチローが殿堂入りした際のインタビューで、一番印象に残っている事を聞かれた際、「引退前の2018年5月から10月までのプレイできなくなった期間、次の年を信じて、苦しくとも努力した日々が一番心に残っている。そして、それが今の自分の支えになっている。」と答えました。数々の記録を達成してきた、その記念すべき日より、思うようにプレイできず、引退する日に向けてもがき苦しんだ努力の日々こそが、一番心に残っている事だと答えたことに衝撃を受けたのを、この作文を読んで改めて思い出しました。野球選手になるために夢に向けて真っすぐに突き進んできた少年は、その夢を実現し、最後まで諦めることなく、努力し続けた。イチローにとって、努力は、「できるようになるためにする」ことでなく、「できるようになりたいからする」ことであり、それをしないことは自分を裏切ることだったのかもしれない。

本校の学校教育目標「練磨」。来年度に向け、気持ちを新たに、目標達成のために努力を積み重ねることができる、自分自身を信じ、諦めずに頑張り抜くことができる一中の生徒たちであってほしいと願う式のこととします。それでは皆さん、明日からの春休み、健康と安全に気を付け、新年度、元気な笑顔で登校してきてください。待っています。

令和8年3月26日 川越市立川越第一中学校 校長 岡島 一恵

保護者・地域の皆様の御支援・御協力により、今年度、無事に終了することができましたこと深く感謝申し上げます。来年度も、子供たちの成長のために、本校教職員一丸となって取り組んで参ります。今後とも御理解・御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

\*\*\*\*\*

### 三年生を送る会



3月5日に「三年生を送る会」が実施されました。3年生のために在校生が工夫を凝らした素敵な会となりました。



### 花植え活動



### 最後の学年集会

25日は、それぞれの学年で今年度最後の学年集会が行われました。1年間を振り返り、成果やもう少し頑張りたいこと等をクラスで発表したり、ゲームをしたり、感謝の気持ちを表現したりと、次年度につながる温かくいい会となりました。



卒業式に向けて、親師会の方、福祉委員会の生徒が中心となって、花植え活動を行ってくれました。季節の花が植えられ、花壇が華やかになりました。

保護者の皆様、本日、お子様が、通知表を持ち帰ります。前学期末にもお願いしましたが、是非、お子様の成長した部分を取り上げ、認めて褒めてあげてください。そして、来年度に向け、目標をもって臨めるよう励ましていただければと思います。